

令和5年12月
第7回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名		
9	佐藤 幸一	<p>1 8050問題について</p> <p>80代の親が、自宅に引きこもる50代の子どもの生活を支え、経済的にも精神的にも行き詰まるという、「8050問題」について、本町の高齢者の親のいる世帯の状況と、現在取り組んでいるその対応について伺う。</p> <p>2 清水町葬斎場控室の冷房設備の整備について</p> <p>町の主な公共施設に冷房設備が整備され、町民から喜ばれているが、亡くなられた方々と最後のお別れをする葬斎場には整備されていない。</p> <p>今後も猛暑が続くと言われている中、是非冷房設備の整備を図っていただきたいと考えるが、町長の見解を伺う。</p>

質	問	者	質	問	事	項
議	席	氏	名			
5	中河	つる子	1	清水町役場での女性の課長職登用をどのように考えているか		
				<p>11月16日、総務産業常任委員会の所管事務調査を行うため栗山町へ行って来た。その調査に対しての質疑応答は担当の女性課長が行い、こちらの質問に要領よく答えていただき満足した。</p> <p>また、司会を担当した議会事務局長も女性で、私たちの調査の目的を受け止め、上手に進行してくれた。昨年行った和歌山県の上富田町、愛知県豊橋市でも女性課長職が活躍していた。そこで男女共同参画の観点から町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 女性の活躍が言われている中、本町でも1名の女性課長がいる。女性の経験、能力を活かしてもっと課長職に女性を登用する考えはないか。</p> <p>(2) 女性課長職を生み出すには全職員の中で、一定数の女性職員が必要と思う。採用時から男女ともに平等な人数の採用も必要と思うがどのように考えているか。</p> <p>(3) 採用後も研修、経験等を男女平等に受ける機会を用意し、仕事に精通できれば女性も男性と同じように力を発揮することができるのではないか。</p>		

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
2	田 村 幸 紀	<p data-bbox="560 248 1423 300">1 新体育館建設延長期間中の事業進捗について</p> <p data-bbox="560 353 1423 495">体育館の大きな役割は、日常的に町民がスポーツ活動に親しむ「スポーツ活動の拠点施設」であることと、災害発生時における「拠点的避難施設」を担うことである。</p> <p data-bbox="560 501 1423 1025">新体育館建設計画は、令和4年度までに基本構想・基本設計は完了しているが、建築資材等の高騰により事業費が増加し、今後の推移も見通せない状況下から、令和5年度以降の年次計画を2年間延長していることは周知の事実である。重要なのはこの2年間を、社会情勢を見極めつつ各種会議等で寄せられているスポーツ振興や地域活性化等の意見をさらに協議検討する時間として活用することである。計画延長してから1年を経過しようとしている現時点における検討状況の進捗と、進行する経年劣化と浸水想定区域内に現存する現状を鑑み、延長期間の長短に関わらず継続使用することによる利用者への安全安心の担保と拠点的避難施設を担っていく役割に対する今後の見通しを伺う。</p>

質 問 者		質 問 事 項
議 席	氏 名	
1	山 本 奈 央	<p>1 高齢者安全運転支援装置設置費補助について</p> <p>経済産業省は、サポカー補助金制度を2020年から2022年にかけて実施した。現在、町では運転免許を自主返納した方へのタクシー乗車券助成事業を行っているが、地方での生活には車が欠かせない移動手段である。町独自で安全運転支援装置設置の補助制度を設けてはどうか伺う。</p> <p>2 みどりの食料システム戦略推進交付金について</p> <p>国は令和3年「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から調達、生産、加工・流通、消費の各段階において、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立実現に向けた方向性を示している。みどりの食料システム戦略で推進されている取り組みを活用することも本町の発展に繋がると予想される。町の今後の方針を伺う。</p> <p>3 ゼロカーボンの実現に向けた理解の促進について</p> <p>ゼロカーボン実現に向けて、利点の情報に触れることは多いが、欠点の情報に触れることは少ない。第6期清水町総合計画の基本構想の施策の大綱「(1) 安全・安心に暮らしつづけるまち」を次世代に繋いでいくために、両面の視点を持つことは大切である。ゼロカーボンの実現に向けた欠点についての認識を伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏	名	質 問 事 項
12	深 沼 達 生	<p>1 農業情勢について</p> <p>今の農業情勢はいまだ厳しい状態が続いている。肥料は昨年と比べ2割ほど安くなっているものの依然高止まりの状態が続き、飼料においても価格が少し下がっているが高止まりの状態である。</p> <p>今年の収穫においては小麦が良かったものの、8月から9月の高温によりビート、イモ、小豆、大豆などの作物が被害を受けている。</p> <p>このような現状を町としてどのように受け止めているか伺う。 また、昨年同様、町独自の肥料高騰対策の考えはあるのか伺う。</p> <p>2 スクールバスの運行について</p> <p>スクールバスを毎日利用する子ども達にとっては安心、安全を第一に考えられなければならない。昨年から今年6月にかけて乗車児童の降ろし忘れがあり、心配する保護者がいた。</p> <p>そこで、これまでにどのような対策をしてきたのか伺う。 また、部活バスを4月にも運行すべきと考えるがいかがか。</p>		